

平成27年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	10	学校名	県立太田第一高等学校				課程	全日制(単位制)			学校長名	萩 谷 主 郎				
教頭名	[全日制] 鈴木 浩二				[定時制] 鈴木 仁						事務室長名	佐 藤 一 彦				
教職員数	教諭	61	養護教諭	2	常勤講師	6	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	8	計	91
生徒数	小学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	139	100	170	107	160	114	—	—	469	321	20				

2 目指す学校像

自主的精神に満ちた、心身共に健康で、社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現状分析	課 題
学習指導	- 課外希望者は例年通りだが、年度途中からの欠席者が増加している。 - 現在の国公立大学合格者数では進学校として外部から認知されなくなる。	- センター試験を到達点とせず、後期試験まで生徒を引っ張るためにはどうすればよいか。 - 現行の学習指導に関するシステムを有効活用するためにはどうすればよいか。
進路指導	国公立大学合格者が、現役39名に減少し（昨年66名）、進学校として成り立っていない。今のままでは、20台に下がるのも近い。最大の原因は、学力の低下である。	国公立大学現役合格50名以上を回復、維持していくため、全職員がさらに協力して学力向上を図るにはどうすればよいか。
生徒指導	- 制服等が乱れた生徒が一部見受けられる。 - 自転車・バイク事故が年間通じてある。	- 正しい服装で、個性を伸ばさせるにはどうするか。 - 交通事故を減らすための安全教育をどうするか。
特活指導	部活動加入状況が約8割と高いが、勉強と両立できていない生徒がいる。	高いレベルで両立させるにはどうするか。

4 中期的目標

- (1) 単位制高等学校（全日制）の特色を生かし、学習指導の充実と学力の向上に努める。
- (2) 進路指導を充実させ、生徒の進路希望の実現に努める。
- (3) 基本的生活習慣の確立と自主的・自律的な生活態度の伸長に努める。
- (4) 生徒・教員・地域住民等による学校評価を踏まえ、学校運営の改善・充実及び、開かれた学校づくりに努める。
- (5) 道德教育の充実を図り、豊かな心の育成に努める。
- (6) 学級減に対応した校内体制の整備に努める。
 - ア 心の教育の充実・豊かな人間性の涵養
 - イ 単位制の特色を生かした学力アップ
 - ウ 家庭学習の定着と学習時間の確保を目指した指導
 - エ 個々の生徒に応じたきめ細かな指導
 - オ 互見授業の積極的な実施と指導力の更なるアップ
 - カ 生徒理解、基本的生活習慣の確立
 - キ 特別教育活動と学社連携の充実
 - ク 情報の共有と臨機応変は判断、充実した学校生活への環境整備
 - ケ 英語力の育成と国際理解教育の推進
 - コ 情報発信と生徒の確保

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 心の教育の充実・豊かな人間性の涵養	自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
(2) 単位制の特色を生かした学力アップ	単位制高等学校としての特色を生かし、学習指導内容の充実を図ることで学力の向上に努める。
(3) 家庭学習の定着と学習時間の確保を目指した指導	生徒の主体的な学習意欲を喚起し、家庭学習時間の確保を図る。
(4) 個々の生徒に応じたきめ細かな指導	生徒の興味・関心・適性に応じた進路指導の充実に努める。

(5) 互見授業の積極的な実施と指導力の更なるアップ	教科指導の内容・方法等の研修に積極的に取り組み、指導力の向上に努める。
(6) 生徒理解，基本的生活習慣の確立	生徒理解をとおして，生徒の個性の伸長を図りながら，高校生らしい服装・態度を身につけさせ，望ましい生活習慣の確立に努める。
(7) 特別教育活動と学社連携の充実	生徒会活動・HR活動・部活動の活性化に努め，地域と連携をはかりながら体験的活動を展開する。
(8) 情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備	危機管理を徹底し，校内外での事故防止と安全安心な学校づくりに努める。
(9) 英語力の育成と国際理解教育の推進	国際理解を深め，グローバルな視点と国際感覚の育成に努める。
(10) 情報発信と生徒の確保	教育活動の広報体制をいっそう充実させるとともに，生徒の確保に努める。